

小山田小

2026年9月1日

第5号

町田市立小山田小学校

校長 悴田 隆良

042(797)1824

<http://www.machida-ky.jp/e-oyamada/>

自分を成長させること

校長 悴田 隆良

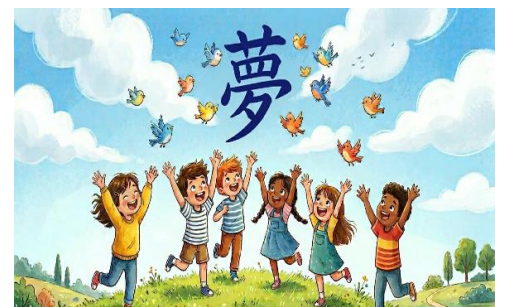
2学期が始まりました。子供たちは夏休みを思い思いに過ごし、新たな思い出や経験を積んできたことと思います。それを力に変えて、また元気に活動していくことでしょう。子供たちの活躍が楽しみです。

さて、今年の夏休みも6年生が日光林間学校に出かけてきました。2泊3日の宿泊学習の中で、多くの子供たちの成長した姿を見ることができました。初日の出発式で私から「歴史や自然の学習はもちろん、“集団での生活”を通していろいろなことを学んでほしい。自分の思うようにならないこともきっとある。その時にどのように行動したらよいかを考えてみよう。」という趣旨の話をしました。子供たちはその期待に応えるように、日光の地で、その場の状況を考えながら動いている様子がうかがえました。

復路のバス車内ではDVDが流れました。それは主人公の頭の中にある「喜び」や「悲しみ」などの感情を受けもつキャラクターが主人公の心の成長のために奮闘するストーリーのアニメでした。幼い頃は、そのキャラクターたちの活躍で“悪い思い出”や“いやな経験”を消して、無邪気に明るく育っていた主人公に思春期が訪れます。すると、これまでになかった感情のキャラクターが出現して、心が揺れ動き出します。そして様々な心の葛藤を通して、主人公が本当の自分らしさを理解し、良いことも悪いことも自分の成長につなげていくお話でした。

DVDを鑑賞しながら、私はそのストーリーと子供たちの成長とを重ね合わせていました。短いながらもいろいろな経験や出来事があったこの3日間、子供たち一人一人にどのような感情が働いていたのか… 個々の頭の中のキャラクターたちがどんな活躍したのか… それがどのような成長につながっていったのか…

6年生だけではありません。夏休みを終えて、元気に登校してきた子供たちは、これからも学校、家庭、地域の中でいろいろな経験をしながら心も体も成長していきます。私たち大人は、未来を生きていく子供たちの成長を支え、見守っていく気持ちを強くもたなければならないとあらためて思います。



（余談ですが・・・）そういう大人もまだまだ成長していくことはできるはず。そう思うと、毎日の生活の中で起きる“うれしいこと”や“かなしいこと”、喜怒哀楽の出来事がすべて貴重な経験なのだと思います。